

高原山 山行報告

1. 目的地 : 高原山 (たかはらやま 1795m) 栃木県藤原町
2. 日程 : 平成20年6月8日(日)
3. 天候 : 曇り
4. 参加者 : 参加者8名(男性3名・女性5名)
5. 参加費 : 3,200円(ガソリン代、有料道路、車・運転謝礼、温泉入浴、事故保険金)
7. コースタイム :

鶏頂山荘駐車場～枯木沼～弁天沼～鶏頂山～最低鞍部～御嶽山～釈迦ガ岳(昼食)～最低鞍部～
8:50 10:20 11:15 12:25～13:30

弁天沼～枯木沼分岐～赤鳥居～西口登山道駐車場
15:30着

8. レベル : 累積標高差 約690m 行動時間約5時間30分 登山初級(B)
9. 山行状況 : 日塩もみじラインに入って登山口間近の名瀑「白滝」を見物して、ここの駐車場トイレで用を済ませます。今は廃止となった鶏頂山スキー場の無人の鶏頂山荘が今回の登山口。ここにはトイレも自販も無い。1台を下山口にデポして、数百台は収容出来る巨大な駐車場にぼつんと車を停めてゲレンデ跡から登り始める。中腹の枯木沼湿原は木道が巡り、周囲を木立に囲まれた静かな別世界。レンゲツツジは蕾が膨らみ始めた頃だったが、沢山のズミの木が花の見頃になっていた。池塘に得体の知れないゼリー状の物質が浮かんでいる。「多分、サンショウウオの卵だろう」ということで、好奇心旺盛な女性メンバーが手で掬いとってみるが、中は何もなくて、既に孵化した後らしい。小さな祠が祀られた弁天沼には水芭蕉が数株、周囲は開けた空き地になっていて、ここで出始めたばかりのワラビ取りに夢中になって時間をつぶす。鶏頂山山頂には信仰の山に相応しく、平成になって立てられた立派な社殿がある。ベンチもあるが生憎くガスがかかって周囲は何も見えない。大きく崩れ落ちた爆裂火口の縁を巡るようにして、鞍部まで下って高原山最高峰の釈迦ガ岳を目指す。この辺りはオオカメノキとシロヤシオの花が沢山咲いている。名残のシャクナゲとミツバツツジを見つかることも出来る。釈迦ガ岳山頂に着いた頃には薄日が射してきた。山頂には山名の由来にもなった石造りの大きな釈迦坐像が祀られている。麓に広がる那須野ガ原は霞んで見えないが、通ってきた鶏頂山など近くの山並みははっきりと見えている。ここで、ゆっくりと昼食。3年前の5月、THCに入会したばかりの私は、個人で「少年自然の家」からミツモチ山を経て釈迦ガ岳に登り、山頂で賑やかに食事をしていた会員3人と遭遇したことがある。下山は西登山道を下り、日塩もみじライン脇の赤鳥居がゴール。鬼怒川温泉の鬼怒川公園岩風呂は、その名のとおり岩をふんだんに使った露天風呂が、庭園の中にあるようで心地よい。途中で夕食を取って、予定よりやや遅れてつくばへ帰り着いた。

10. 写真 : 下山口、赤鳥居

枯木沼湿原



ズミの花



弁天沼

